



中小企業景況レポート No.2

平成26年4月～6月期の景気の現状と平成26年7月～9月期の見通し

- 地区内中期業景気動向調査
業種別・地区別
平成26年4月～6月期実績
平成26年7月～9月期の見通し
- 特別調査
「設備の稼働・保有状況」
「雇用・採用状況」
「消費税引き上げ後の影響について」

新商品「職域サポートローン」を発売

にいかわ信用金庫では、地元事業所に勤務されている皆様のために、通常金利より優遇したローン商品を発売いたします。この商品は、車両購入や教育資金などの健全な生活を営むための消費資金としてご利用いただけます。詳しくは営業店窓口でお尋ねください。

にいかわ信金
職域サポートローン

にいかわ信金職域サポートローンとは？
にいかわ信用金庫と職域サポート契約を締結していただいた企業先にお勤めの皆さまが、当金庫のローンをご利用いただく場合、通常金利より優遇させていただき、サポートプランです。にいかわ信用金庫では、福利厚生充実のために企業をサポートさせていただきます。

ご融資利率
ご融資期間
5年以下の場合
年1.20%
(保証料別)

ご融資利率
ご融資期間
5年超の場合
年1.50%
(保証料別)

年収確認資料不要!

お客様のための専門部署「業務部サポート室」を設置

平成26年9月1日付で、営業店と一体となってお客様により良いサービスの提供を図るため、本部内に業務部サポート室を設置し、専門スタッフ3名を配置しました。

活動例

- ・省エネ空調更新にかかる助成金申請支援
- ・個別取引先と地区内業者との商談・あっせん
- ・建設業災害対応金融支援事業補助金制度の推進
- ・空き店舗を活用した新規出店支援事業補助金制度の推進 など

公募予定、公募中の補助金・助成金等のご案内

	《申込期間》
・とやま中小企業チャレンジファンド事業第2回募集	26.9.19～26.10.20
・再生可能エネルギー熱利用加速化支援対策費補助金の公募	26.4.21～26.11.28
・独立型再生可能エネルギー発電システム等対策補助金の公募	26.4.21～26.11.28
・生産性向上設備投資促進税制の施行	26.1.20～28.3.31

調査にあたって

にいかわ信用金庫では、この度、当庫営業地区の158社の中小企業の皆様からご協力をいただき、平成26年4月～6月の景気動向と平成26年7月～9月の見通しを調査いたしました。対象業種は、製造業、卸・小売業、サービス業、不動産業、建設業、その他の6業種です。前期比較及び3か月予想を中心に業種別及び当庫営業地区別に分析しました。なお、前回調査と今回調査の主なD.I値の変化を折れ線グラフで表示しました。

また、特別調査として設備の稼働状況や雇用状況などについて調査いたしました。

今後、四半期ごとに景気動向調査を実施し、調査結果を地域に還元してまいりますので引き続きご協力をお願い申し上げます。

全業種調査結果 《D.I値》

	売上額 (受注額)	販売単価	仕入単価	収益	資金繰り
前期比較	4.4	8.2	39.2	▲ 10.8	▲ 5.1
3か月予想	13.9	10.1	29.1	2.5	▲ 6.3

当庫の営業エリア



- 魚津地区 …… 魚津市
- 滑川地区 …… 滑川市
- 黒部・下新川地区 …… 黒部市、朝日町、入善町、
- 富山地区 …… 富山市(旧山田村を除く)、舟橋村、上市町、立山町

D.I値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較増加判断の割合が高くD.I値21.1であるが前回調査DI値23.7からやや低下し、3か月予想でもさらに低下しD.I値15.8となっている。今後についても「変わらない」と回答している企業が最も多く、一部で売上回復の兆しが見られる一方で、売上上げ増加に繋がらないと判断している企業少なくなく、依然として地元企業全体に広く景気回復が波及していない結果となっている。

仕入単価判断

前期比較「変わらない」が最も多く22社、「やや上昇」12社、3か月予想も「変わらない」とする割合が68.4%(26社)、今後も仕入れ単価が上昇すると判断する企業が9社となっている。前回調査3か月予想DI値50.0から、今回調査前期比較DI値34.2と低下し、仕入単価に大きな値上げ等がなかった企業があったと見られる。

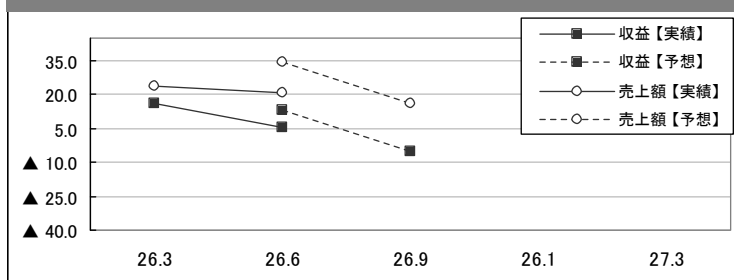
資金繰り判断

前期比較「変わらない」が最も高く33社、3か月予想も「変わらない」が32社となっています。前回調査3か月予想「やや悪化・悪化」7社から、今回前期比較3社に減少し、前回調査3か月予想DI値▲10.5から今回前期比較DI値▲2.6と若干改善しているが依然として資金繰り改善が進んでいない企業も見られる結果となっている。

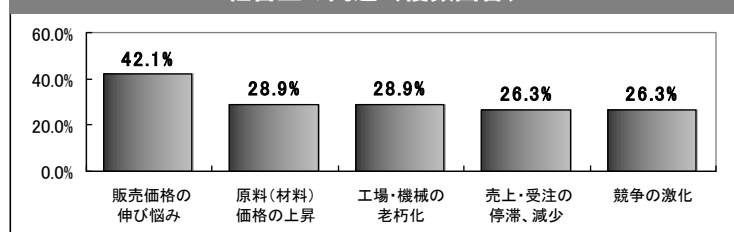
収益判断

前期比較「変わらず」と回答した企業が最も多く18社、前回3か月予想で「やや増加」するとした企業が13社DI値13.2から、今回前期比較8社DI値5.3に悪化しており、前期比較「やや減少・減少」が9社、今回3か月予想でも10社DI値▲5.3。依然として収益改善に繋がっていない企業が少なくない結果となっている。

売上額と収益からみるD.I値の推移



経営上の問題（複数回答）

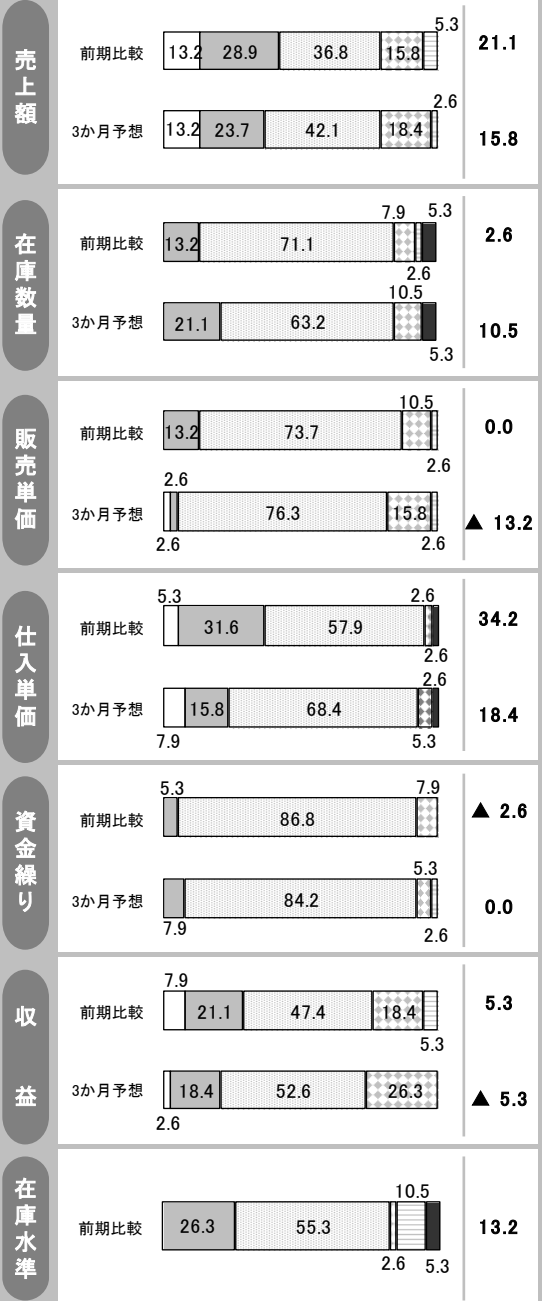


景況感についてのご意見を伺いました！

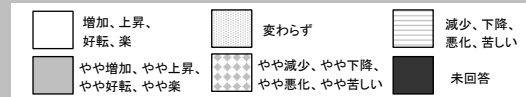
- ・世の中が少しずつ良くなってきているように感じる。(黒部・下新川地区)
- ・受注増加により、従業員募集中であるが、人材確保に至っていない。ものづくり補助金を受ける予定。(黒部・下新川地区)
- ・生産は昨年より増加しているが、消費税増税後の販売状況の結果が不明で、その結果次第で次期シーズンの生産量が左右される。(黒部・下新川地区)

- ・受注量は変わらないと思われます。販売価格の伸び悩み、同業者との競争が継続しています。(富山地区)
- ・各企業の今まで止まっていた設備投資が順調に伸びており、景気回復へと繋がっている。(富山地区)
- ・顧客の海外調達品の増加により受注量が減少している。(滑川地区)
- ・末端見通し暗し。(滑川地区)

D.I値



前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



卸・小売業

回答企業 28社

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較「やや減少・減少」が57.2%(16社)と多くDI値▲39.3、前回調査3か月予想DI値▲3.8から大幅に悪化していることから、消費増税後の反動による影響が予想以上に多くの企業で見られ、一方、今回3か月予想で、「やや増加」11社、「やや減少」4社と回答しておりDI値10.7となり、今後消費増税前の駆け込み需要反動の影響が薄れ売上増を予想している企業が多いことがうかがえる。

仕入単価判断

前期比較「やや上昇」6社DI値21.4、前回調査3か月予想で、「やや上昇」10社DI値26.9と、DI値はやや低下しているが、今回3か月予想ではDI値32.1と上昇し、引き続き仕入単価が「やや上昇」と予想する企業が少なくない結果となっています。又、経営上の諸問題で「販売価格の伸び悩み」「原料価格の上昇」と回答する企業が前回調査から増加しており、仕入れ価格の上昇や販売単価への転嫁に苦慮している先が少なくないことがうかがえる。

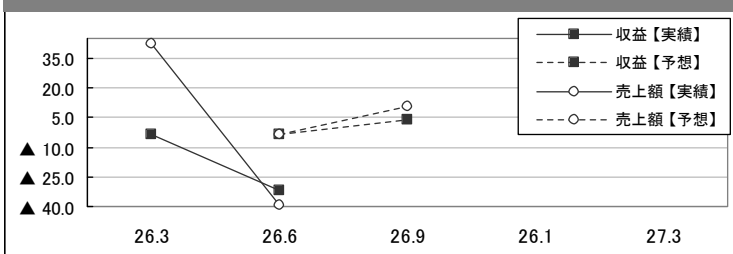
資金繰り判断

前期比較「やや悪化」8社DI値▲10.7、前回調査3か月予想DI値▲15.4からやや改善されているが、今回調査3か月予想DI値▲10.7と今後も資金繰りに苦しいと予想する企業が少なくない結果となっている。

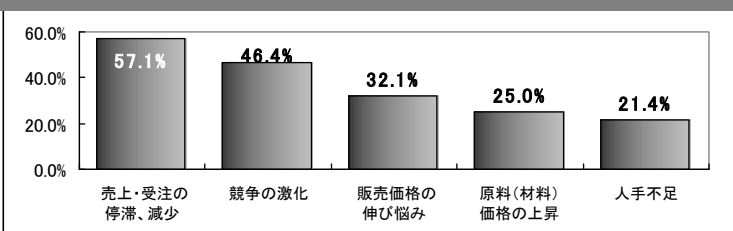
収益判断

前期比較「やや減少・減少」DI値▲32.1(14社)、前回3か月予想DI値▲3.8から大幅に悪化している。今回3か月予想DI値3.6となり、今後収益改善を予想している企業が6社にとどまり、「やや減少・減少」と回答している企業が5社となり、収益増加と判断している企業が増加する一方で収益改善が進んでいない企業少なくない結果となっている。

売上額と収益からみるDI値の推移



経営上の問題（複数回答）



景況感についてのご意見を伺いました！

- ・天候により仕入が左右される。(黒部・下新川地区)
- ・世間が好景気でも不景気でも、特別変わらないので安定しています。(魚津地区)
- ・まだ、不透明。(魚津地区)
- ・現況では、なんとなく売上、利益共に維持しているが、徐々に財布の紐が固くなってきている。日本経済は縮小やむなし、アベノミクスは、迷想に迷走しなければ良いが…。消費税増税が国民の懐具合が窮屈なものになるのは必至とみえる。増税には反対したい。(黒部・下新川地区)
- ・同業者間競争の激化や大手資本の参入により売上低迷。飲食部門の人材難。(魚津地区)
- ・26年5月決算予想 売上6億円 株式売却損出して、利益10万円程度。(魚津地区)
- ・原油価格が毎週高騰していることから、売上・仕入共に今後の経営にどう響くか心配である。(滑川地区)

項目	前期比較	3か月予想	DI値
売上額	▲39.3	10.7	▲39.3
在庫数量	▲21.4	0.0	▲21.4
販売単価	▲7.1	35.7	▲7.1
仕入単価	21.4	32.1	21.4
資金繰り	▲10.7	▲10.7	▲10.7
収益	▲32.1	3.6	▲32.1
在庫水準	10.7	10.7	10.7

前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月

増加、上昇、好転、楽
 やや増加、やや上昇、やや好転、やや楽
 変わらず
 やや減少、やや下降、やや悪化、やや苦しい
 減少、下降、悪化、苦しい
 未回答

サービス業

回答企業 25社

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較、「増加・やや増加」が12社DI値20.0、前回3か月予想DI値3.8から大幅に改善されている。「増加」「減少」の内訳でも各6社が回答し今回3か月予想DI値12.0と悪化しているが、「変わらず」と回答している企業が10社に増加しており「減少・やや減少」回答6社あるものの、依然として増加すると判断している企業の割合が多い結果となっている。

販売単価判断

前期比較「変わらず」が14社で最も多く、「上昇・やや上昇」8社、一方「やや下降」が3社にとどまっておりますDI値20.0、前回3か月予想DI値19.2とほぼ同水準で推移している。今回3か月予想DI値8.0に低下、「下降・やや下降」が3社回答しており消費増税分の価格転嫁を検討している企業がある一方で、依然として価格転嫁に慎重になっている企業が少なくないことがうかがえる。

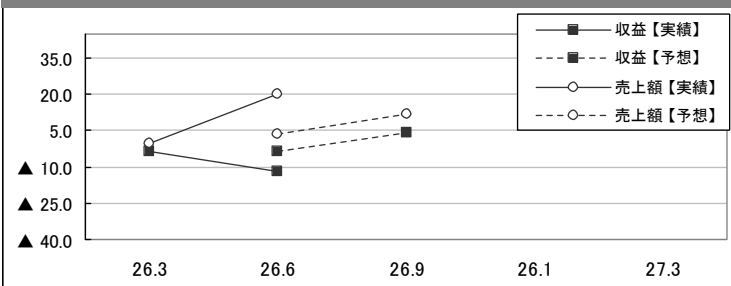
仕入単価判断

前期比較「上昇・やや上昇」13社DI値52.0、前回3か月予想DI値42.3とから仕入れ価格上昇している結果となっている。今回3か月予想でもDI値44.0と依然として仕入単価が上昇すると予想している企業が多いうかがえる。

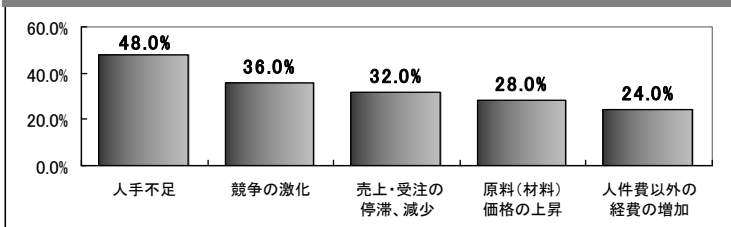
資金繰り判断

前期比較「変わらず」が最も多く14社DI値4.0、前回3か月予想DI値▲15.4から改善がすすんでいる企業が多い結果となっている。しかし、今回3か月予想では、「変わらず」が17社に増加する一方で、「苦しい・やや苦しい」が1社増加し6社回答しておりDI値▲16.0、仕入単価上昇や人手不足などから今後の資金繰りに影響があると判断している企業が少なくない結果となっている。

売上額と収益からみるDI値の推移



経営上の問題（複数回答）

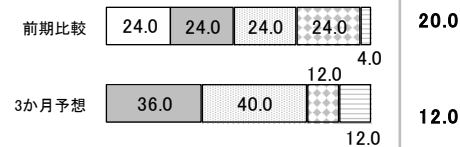


景況感についてのご意見を伺いました！

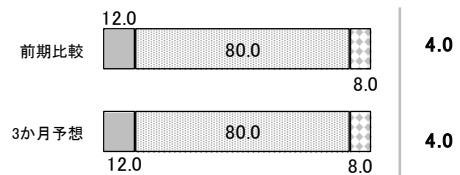
- ・大きく変化なく、安定している状況。(魚津地区)
- ・燃料代高騰により、収益圧迫。(黒部・下新川地区)
- ・人手不足となっているが、新卒者を確保するのが課題である。(黒部・下新川地区)
- ・原材料(豚肉・とんこつ)仕入が高止まりとなっている ※約2割高 (魚津地区)
- ・景気は上昇傾向だが、人手不足であるため営業活動が出来ない。(富山地区)

D.I値

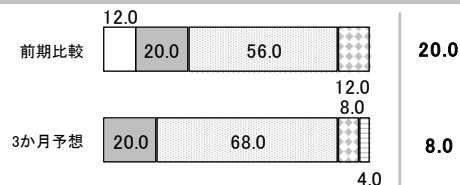
売上額



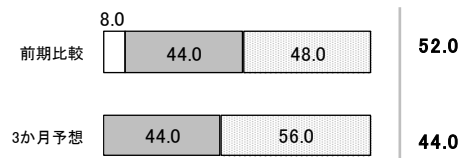
在庫数量



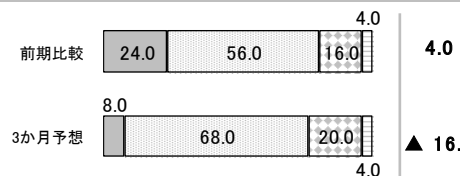
販売単価



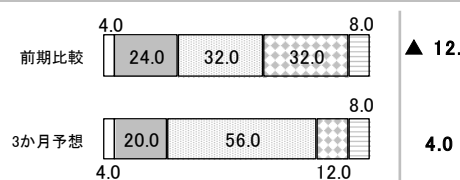
仕入単価



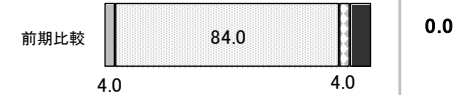
資金繰り



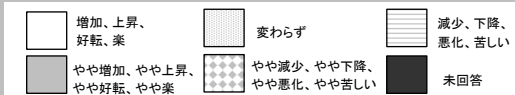
収益



在庫水準



前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較「やや増加」が13社と最も多く、次いで「減少」が9社、「やや減少」3社となっており、前回3か月予想で「変わらず」が13社、次いで「やや増加」が11社回答、前回3か月予想DI値5.7、今回前期比較DI値11.0 業界全体として公共工事発注増等から地元建設業者の受注増加傾向にあるが、一方で26年4月以降「やや減少・減少」と回答している企業も少なくなく経営上の諸問題でも「受注・売上の停滞・減少」がもっとも多い結果となっている。

仕入単価判断

前期比較「上昇・やや上昇」16社DI値44.4、3か月予想では「上昇・やや上昇」14社DI値38.9と今後も多くの企業で原材料価格が上昇すると判断していると見られ、経営上の諸問題で多くの企業が「原材料価格の上昇」を上げている。

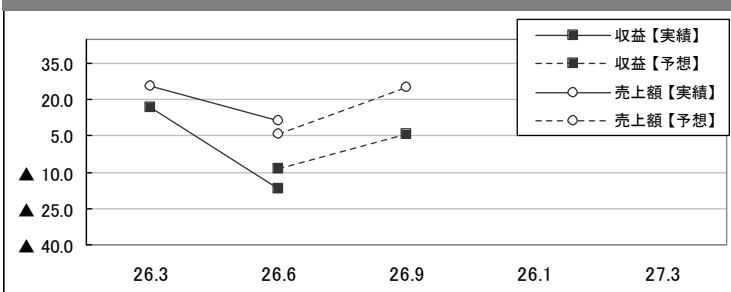
資金繰り判断

前期比較「変わらず」と回答している企業が23社DI値▲5.6、3か月予想も25社と最も多くDI値▲5.6と、前回前期比較▲5.7とほぼ同水準となっている。収益判断では、「増加・やや増加」7社、「変わらず」16社、3か月予想は「増加・やや増加」9社、「変わらず」20社回答しており前期比較DI値▲16.7、3か月予想DI値5.6、売上3か月予想DI値25.0となっていることから売上増加から収益改善を予想している企業がやや多くなっているが、「悪化・やや悪化」と7社が回答しており収益改善を予想している企業が多い一方で、改善が進んでいない企業も少なくない結果となっている。

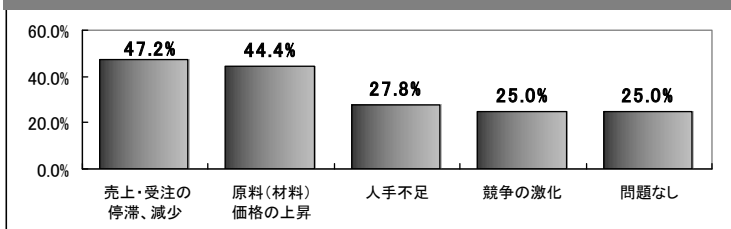
経営上の諸問題

「売上・受注の停滞・減少」・「原材料価格の上昇」・「人手不足」等の回答が多く対応に苦慮している企業が少なくないことがうかがえる。

売上額と収益からみるDI値の推移



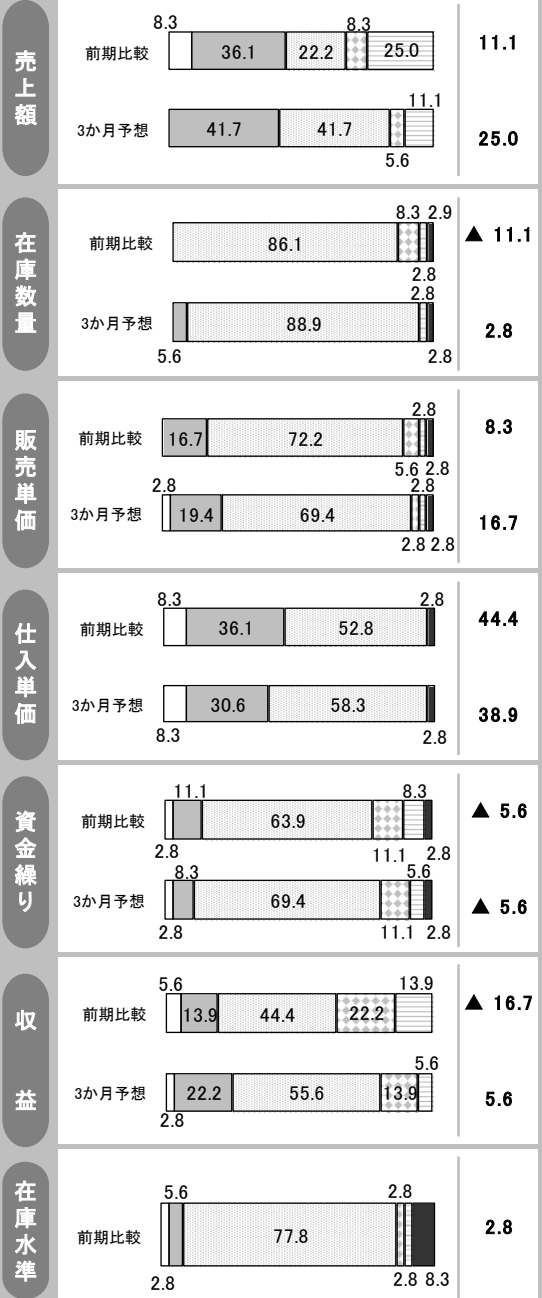
経営上の問題（複数回答）



景況感についてのご意見を伺いました！

- ・受注増加に伴い立替資金が必要となった場合、メインの信金さんをお願いしたい。(魚津地区)
- ・加工機械導入に伴い、県の助成金を受ける予定。(黒部・下新川地区)
- ・先行き不安・不透明感があるため、思い切った投資(ヒト・モノ・カネ)に踏み切れない・・・。(黒部・下新川地区)
- ・公共工事の単価が低い。(魚津地区)
- ・やや下降。(富山地区)
- ・現在好調であるが、引きつづき継続するものと考えています。(富山地区)
- ・代表者交代にかかる許可等の関係で、約1か月間入札できず、7月～9月の売上は減少となる見込み。(滑川地区)

D.I値



前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較「変わらず」が8社・「増加・やや増加」が3社DI値0.0、3か月予想では「変わらず」が10社に増加、一方で「増加・やや増加」がわずか1社、「減少・やや減少」3社が回答しDI値▲14.3となっている。

仕入単価判断

前期比較「やや増加」4社回答DI値28.6、3か月予想「やや下降」2社の回答DI値0.0となっている。

資金繰り判断

前期比較・3か月予想ともに同水準であり、いずれも「変わらない」と判断している企業(92.9%)が最も多くなっている。DI値▲7.1

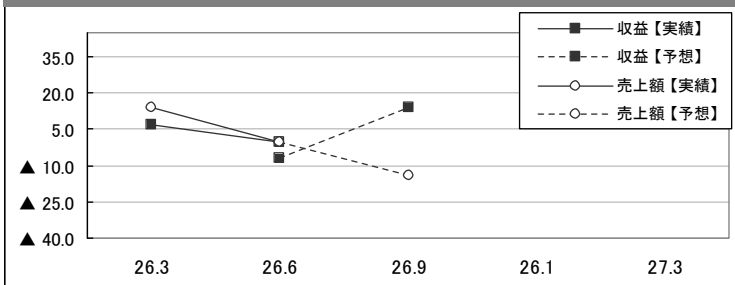
収益判断

前期比較「変わらず」8社・「やや増加」2社DI値0.0、3か月予想「変わらず」10社に増加、「やや増加・増加」3社回答DI値14.3となっている。

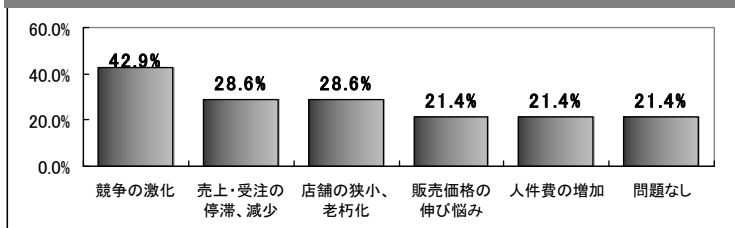
経営上の諸問題

業種の特徴として店舗の狭小・老朽化を回答している企業も少ない結果となっている。

売上額と収益からみるDI値の推移



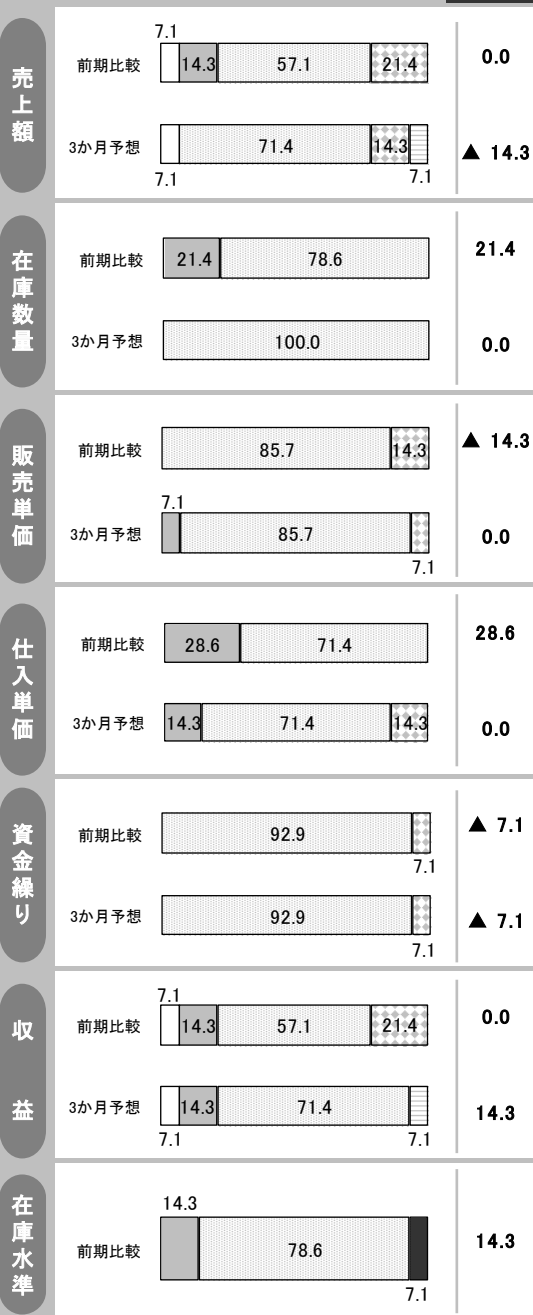
経営上の問題（複数回答）



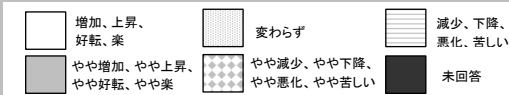
景況感についてのご意見を伺いました！

- ・現在の入居状況を維持していきたい。(魚津地区)
- ・適正。(魚津地区)
- ・好転は難しい。(魚津地区)
- ・とくに変わらず。(富山地区)
- ・引き続き、空室を無くすように全力を尽くす。(富山地区)
- ・消費税率引き上げ後、住宅需要マインドは大きく落ち込んだが、6月半ば頃から、若干客足は戻りつつある。(富山地区)

D.I値



前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



その他の業種 回答企業 17社

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

医療保険衛生・福祉で前期比較増加判断の割合が高く、運輸業で減少判断が高く全体でのDI値5.9となっている。3か月予想では、運輸業で「変わらず」が増加していることから全体のDI値は17.6と改善予想が多くなっている。

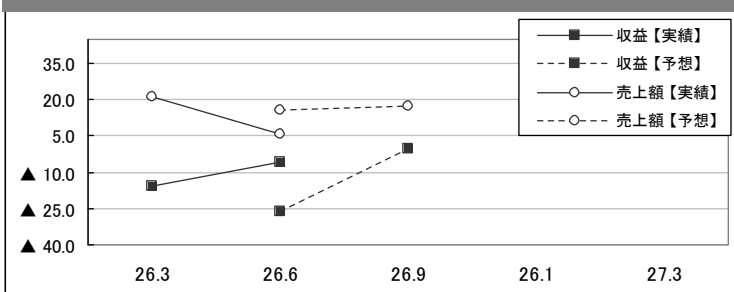
仕入単価判断

医療保険衛生・福祉及び運輸業で前期比較上昇判断が多くDI値58.8、3か月予想では、11社が「変わらず」と回答しておりDI値29.4となっている。

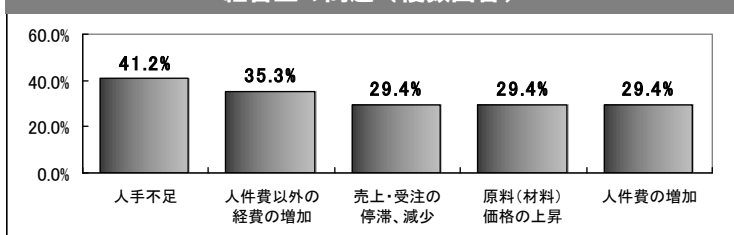
収益判断

医療保険衛生・福祉及び運輸業で前期比較悪化と判断する企業が多くDI値▲5.9、3か月予想では同業種その他農林水産漁業の一部に改善予想を回答しておりDI値0.0となっている。

売上額と収益からみるDI値の推移



経営上の問題（複数回答）

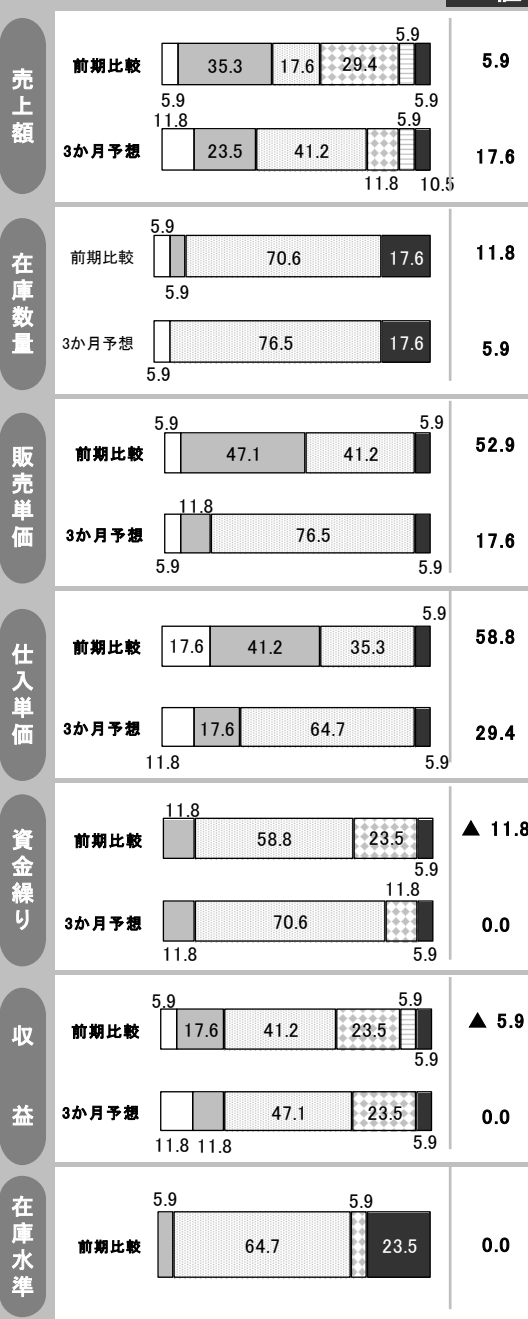


景況感についてのご意見を伺いました！

- ・平成28年の金沢進出に向け、人材確保したことで人件費増加。人員増加と売上が比例していかない状況。(魚津地区・医療保険福祉)
- ・消費税アップで家計に影響が出ているため、利用回数を減らす利用者もいる。(黒部・下新川地区・医療保健福祉)
- ・経営上の問題は、長期借入金の返済。従業員の高齢化。ハローワークからの紹介で採用した社員が長く続かなく、従業員の入れ替わりが激しい状況である。(黒部・下新川地区・運輸業)

- ・燃料代高騰、消費税負担増の割には、売上が伸びているわけではないので、景況感はマイナスを感じる。(黒部・下新川地区・漁業)
- ・ガソリン価格の高騰。(黒部・下新川地区・運輸業)
- ・公共工事の増加によって景気回復の兆しが見られるが、実感できるものとはなっていない。(魚津地区・林業)
- ・利用者数の増加に伴い、増収となっている。(富山地区・医療保健福祉)
- ・良くなっている実感はない。(富山地区・医療保健福祉)

D.I値



前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



魚津地区

回答企業 48社

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くD.I値2.1、3か月予想では、増加判断の割合は29.2%に低下しているが減少判断の割合も20.8%に低下し、D.I値8.3となっている。

販売単価判断

前期比較で下降と判断の割合がやや高くD.I値▲4.2、3か月予想では、上昇判断を回答する企業がやや減少しD.I値▲6.3となっている。

仕入単価判断

前期比較で上昇判断の割合が高くD.I値33.3、3か月予想では、上昇判断の割合がやや減少しD.I値31.3となっている。

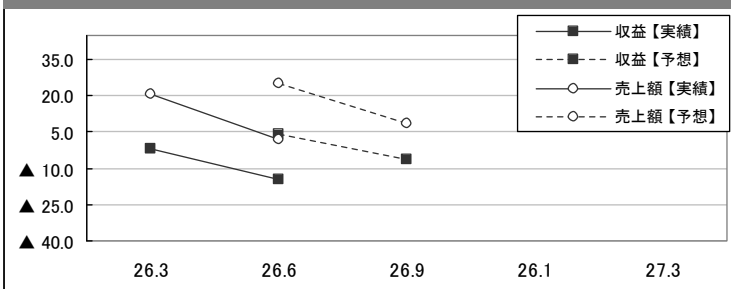
資金繰り判断

前期比較で悪化判断の割合が高くD.I値▲8.3、3か月予想では、改善判断の割合が減少しD.I値▲10.4となっている。

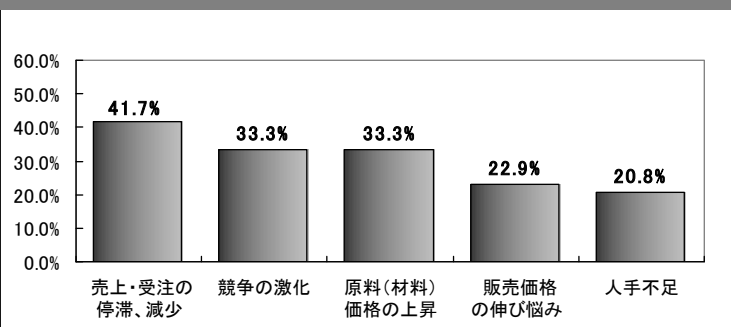
収益判断

前期比較で減少判断の割合が高くD.I値▲14.6、3か月予想では、減少判断を回答する企業が減少しD.I値▲6.3となっている。

売上額と収益からみるD.I値の推移



経営上の問題（複数回答）



	D.I値																
売上額	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>8.3</td> <td>27.1</td> <td>29.2</td> <td>16.7</td> <td>16.7</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>3か月予想</td> <td>4.2</td> <td>25.0</td> <td>47.9</td> <td>10.4</td> <td>10.4</td> <td>2.1</td> <td>8.3</td> </tr> </table>	前期比較	8.3	27.1	29.2	16.7	16.7	2.1	2.1	3か月予想	4.2	25.0	47.9	10.4	10.4	2.1	8.3
前期比較	8.3	27.1	29.2	16.7	16.7	2.1	2.1										
3か月予想	4.2	25.0	47.9	10.4	10.4	2.1	8.3										
在庫数量	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>6.3</td> <td>72.9</td> <td>4.2</td> <td>4.2</td> <td>▲4.2</td> </tr> <tr> <td>3か月予想</td> <td>6.3</td> <td>79.2</td> <td>6.3</td> <td>10.4</td> <td>4.2</td> <td>2.1</td> </tr> </table>	前期比較	6.3	72.9	4.2	4.2	▲4.2	3か月予想	6.3	79.2	6.3	10.4	4.2	2.1			
前期比較	6.3	72.9	4.2	4.2	▲4.2												
3か月予想	6.3	79.2	6.3	10.4	4.2	2.1											
販売単価	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>4.2</td> <td>68.8</td> <td>2.1</td> <td>12.5</td> <td>6.3</td> <td>▲4.2</td> </tr> <tr> <td>3か月予想</td> <td>8.3</td> <td>70.8</td> <td>10.4</td> <td>4.2</td> <td>6.3</td> <td>▲6.3</td> </tr> </table>	前期比較	4.2	68.8	2.1	12.5	6.3	▲4.2	3か月予想	8.3	70.8	10.4	4.2	6.3	▲6.3		
前期比較	4.2	68.8	2.1	12.5	6.3	▲4.2											
3か月予想	8.3	70.8	10.4	4.2	6.3	▲6.3											
仕入単価	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>10.4</td> <td>22.9</td> <td>58.3</td> <td>8.3</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>3か月予想</td> <td>4.2</td> <td>27.1</td> <td>60.4</td> <td>8.3</td> <td>31.3</td> </tr> </table>	前期比較	10.4	22.9	58.3	8.3	33.3	3か月予想	4.2	27.1	60.4	8.3	31.3				
前期比較	10.4	22.9	58.3	8.3	33.3												
3か月予想	4.2	27.1	60.4	8.3	31.3												
資金繰り	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>6.3</td> <td>72.9</td> <td>4.2</td> <td>12.5</td> <td>2.1</td> <td>▲8.3</td> </tr> <tr> <td>3か月予想</td> <td>2.1</td> <td>75.0</td> <td>12.5</td> <td>2.1</td> <td>4.2</td> <td>▲10.4</td> </tr> </table>	前期比較	6.3	72.9	4.2	12.5	2.1	▲8.3	3か月予想	2.1	75.0	12.5	2.1	4.2	▲10.4		
前期比較	6.3	72.9	4.2	12.5	2.1	▲8.3											
3か月予想	2.1	75.0	12.5	2.1	4.2	▲10.4											
収益	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>8.3</td> <td>12.5</td> <td>41.7</td> <td>25.0</td> <td>10.4</td> <td>▲14.6</td> </tr> <tr> <td>3か月予想</td> <td>4.2</td> <td>14.6</td> <td>54.2</td> <td>16.7</td> <td>8.3</td> <td>▲6.3</td> </tr> </table>	前期比較	8.3	12.5	41.7	25.0	10.4	▲14.6	3か月予想	4.2	14.6	54.2	16.7	8.3	▲6.3		
前期比較	8.3	12.5	41.7	25.0	10.4	▲14.6											
3か月予想	4.2	14.6	54.2	16.7	8.3	▲6.3											
在庫水準	<table border="1"> <tr> <td>前期比較</td> <td>10.4</td> <td>72.9</td> <td>2.1</td> <td>8.3</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> </tr> </table>	前期比較	10.4	72.9	2.1	8.3	2.1	2.1									
前期比較	10.4	72.9	2.1	8.3	2.1	2.1											

前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月

増加、上昇、好転、楽	変わらず	減少、下降、悪化、苦しい
やや増加、やや上昇、やや好転、やや楽	やや減少、やや下降、やや悪化、やや苦しい	未回答

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較で減少判断の割合が高くD.I値▲20.0、3か月予想では、増加判断の割合が増加しD.I値25.0と今後売上増加と判断している企業の割合が多くなっている。

販売単価判断

前期比較で上昇と判断の割合が高くD.I値15.0、3か月予想では、上昇判断の割合が増加、低下と判断する割合が減少しD.I値35.0となっている。

仕入単価判断

前期比較で上昇と判断の割合が高くD.I値30.0、3か月予想では、更に上昇判断割合が増加し低下予想と回答する企業がなくD.I値50.0となっており、今後も仕入単価が上昇すると判断している企業が多くなっている。

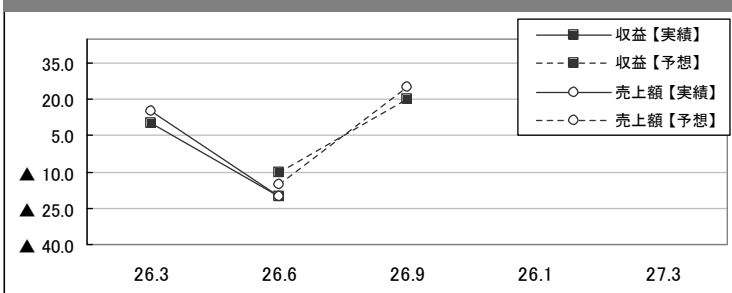
資金繰り判断

前期比較で悪化判断の割合が高くD.I値▲5.0、3か月予想では悪化判断の割合が更に高くなりD.I値▲15.0となっている。

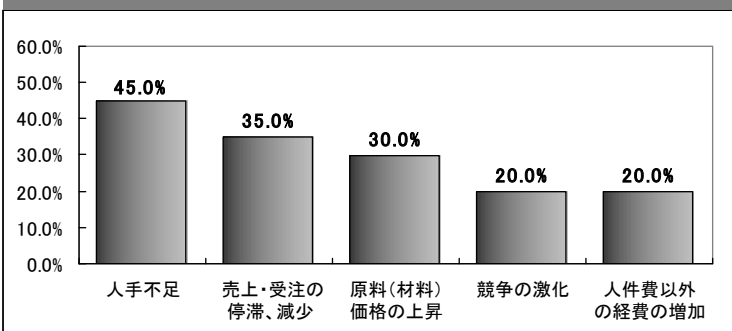
収益判断

前期比較で低下判断の割合が高くD.I値▲20.0、3か月予想では、増加判断が増加し、低下判断がしてD.I値20.0となっており改善を予想する企業の割合が増加している。

売上額と収益からみるD.I値の推移

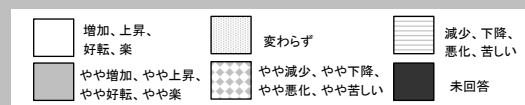


経営上の問題（複数回答）



	D.I値
売上額	▲ 20.0
在庫数量	▲ 10.0
販売単価	15.0
仕入単価	30.0
資金繰り	▲ 5.0
収益	▲ 20.0
在庫水準	20.0

前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



地区別の業況

黒部・下新川地区

回答企業 50社

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くD.I値12.0、3か月予想では、増加判断の割合が増加しD.I値18.0となっており、今後、売上増加を予想している企業が多くなっている。

販売単価判断

前期比較で上昇判断の割合が高くD.I値16.0、3か月予想では、上昇判断の割合が低下しD.I値8.0となっている。

仕入単価判断

前期比較上昇判断の割合が高くD.I値54.0、3か月予想でもD.I値34.0となっており、今後も仕入単価が上昇すると判断している企業が多くなっている。

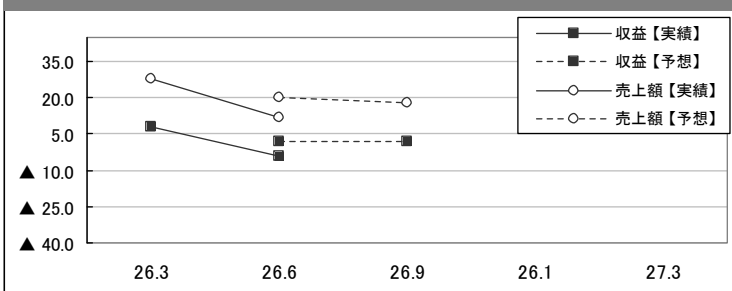
資金繰り判断

前期比較で「変わらず」が最も多く33社が回答、悪化判断の回答10ありDI値▲6.0、3か月予想では、悪化判断の割合がやや減少し D.I値▲2.0となっている。

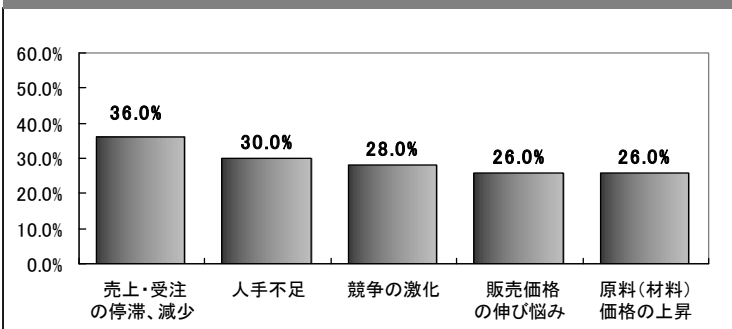
収益判断

前期比較で減少と判断している割合が若干多くD.I値▲4.0となっているが、3か月予想では増加判断の割合が若干高くなりDI値2.0、今後、収益改善を予想している企業が若干多くなっている。

売上額と収益からみるD.I値の推移

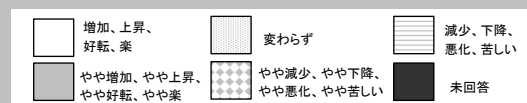


経営上の問題（複数回答）



	D.I値	
売上額	前期比較	12.0
	3か月予想	18.0
在庫数量	前期比較	▲ 4.0
	3か月予想	8.0
販売単価	前期比較	16.0
	3か月予想	8.0
仕入単価	前期比較	54.0
	3か月予想	34.0
資金繰り	前期比較	▲ 6.0
	3か月予想	▲ 2.0
収益	前期比較	▲ 4.0
	3か月予想	2.0
在庫水準	前期比較	8.0
	3か月予想	8.0

前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



地区別の業況

富山地区

回答企業 40社

今期の業況と次期の見通し

売上額判断

前期比較で増加判断の割合が高くD.I値10.0、3か月予想でも、「変わらず」と回答する企業が大幅に増加し、一方で増加・減少判断の割合がともに減少しているがD.I値は前期比較と変わらず10.0となっている。

販売単価判断

前期比較で上昇判断の割合が高くD.I値10.0、3か月予想では低下判断と回答する企業がなくD.I値20.0となっている。

仕入単価判断

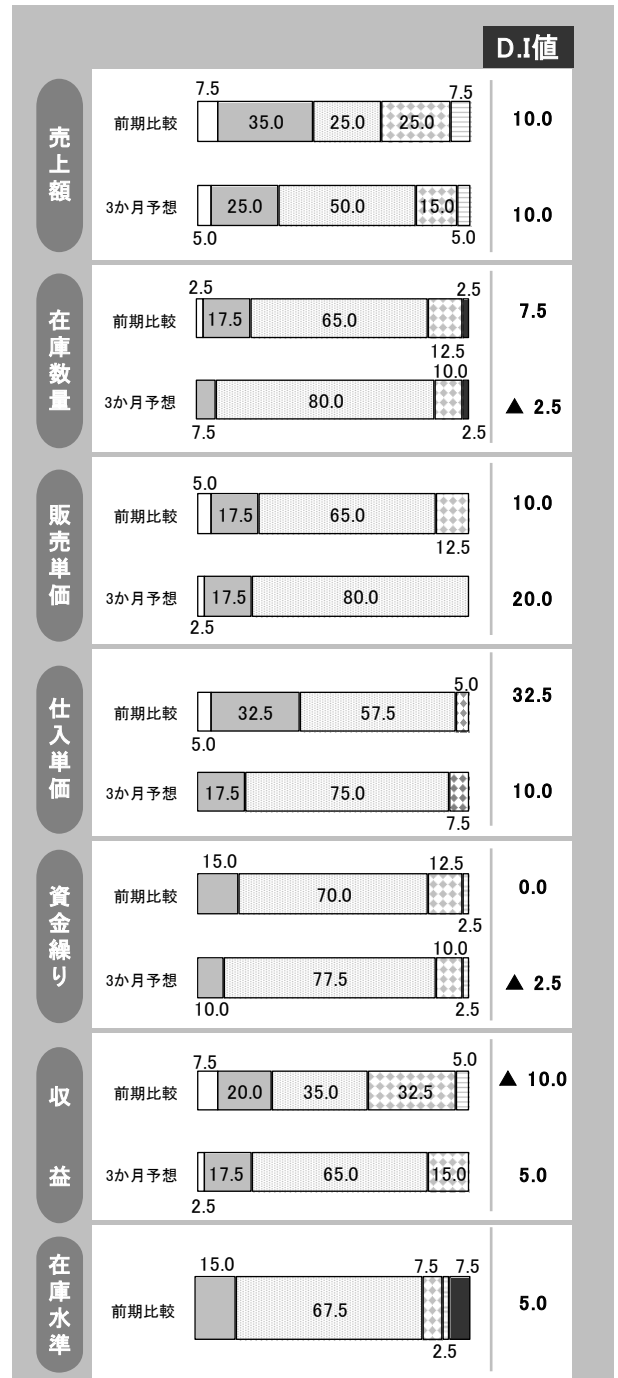
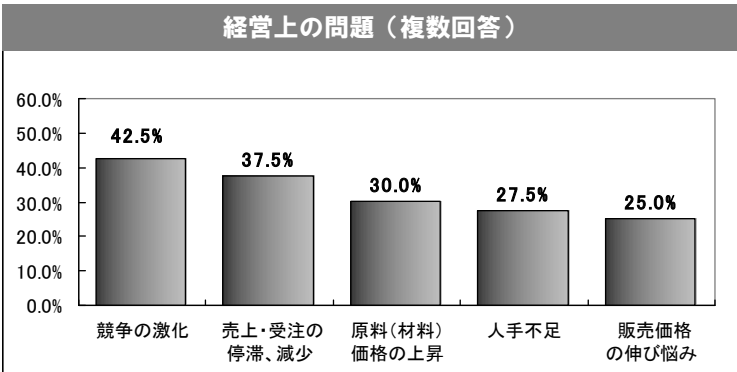
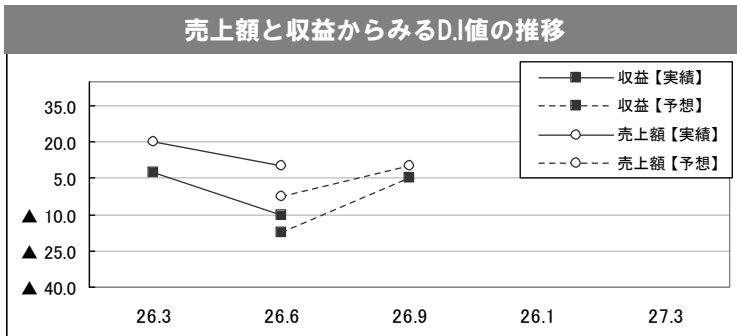
前期比較で上昇判断割合が高くD.I値32.5、3か月予想でも「変わらず」と30社が回答しD.I値10.0となっており、今後も仕入単価が上昇すると判断している企業が多くなっている。

資金繰り判断

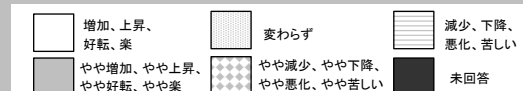
前期比較で「変わらず」と28社が回答、好転・悪化ほぼ同数の回答D.I値0.0。3か月予想でも、「変わらず」と31社が回答し悪化と回答する企業が若干多くD.I値▲2.5となっている。

収益判断

前期比較で低下割合が高くD.I値▲10.0となっているが、3か月予想では、「変わらず」が最も多く26社回答し改善判断の割合がやや高くなりD.I値5.0となっている。



前期比較・・・26年4月～6月
3か月予想・・・26年7月～9月



設備の稼働・保有状況

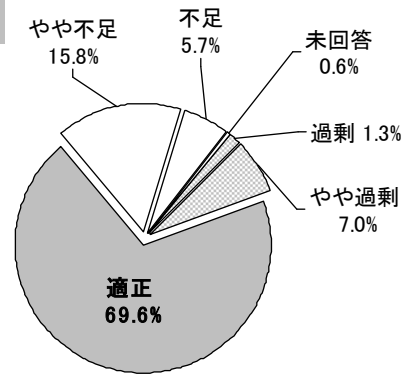
問1

現在保有している設備（生産設備・機械・車両・賃貸物件など）の保有状況について、どのようにお考えですか。

適正と回答している企業が全体の69.6%と最も多く、業種別にみると、不動産業(85.7%)、建設業(77.8%)で高くなっています。次いでやや不足(15.8%)不足(5.7%)となっており、製造業(28.9%)、サービス業(24.0%)が高くなっています。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
過剰と考えている	0.0%	3.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
やや過剰と考えている	7.9%	10.7%	8.0%	0.0%	7.1%	11.8%
適正と考えている	63.2%	64.3%	68.0%	77.8%	85.7%	64.7%
やや不足と考えている	23.7%	14.3%	12.0%	16.7%	0.0%	17.6%
不足と考えている	5.3%	7.1%	12.0%	2.8%	0.0%	5.9%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%

全業種



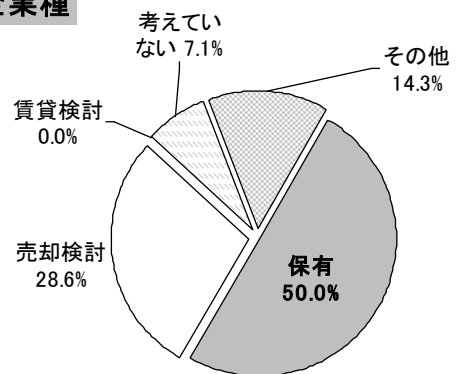
問2

問1で過剰またはやや過剰と回答された事業所にお尋ねします。過剰な設備について、今後の対応予定はありますか。

過剰・やや過剰と回答している企業の半数が、今後も保有と回答しています。売却検討が28.6%となっています。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
当分の間、現状どおり保有と予定している	66.7%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
売却を検討している	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
売却までは考えていないが賃貸を検討している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特に考えていない	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全業種



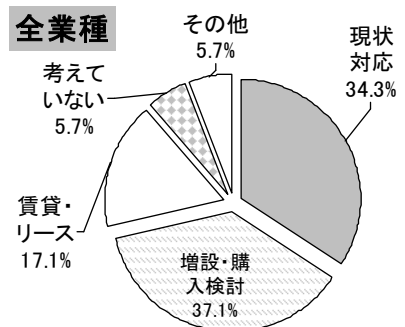
問3

問1で不足またはやや不足と回答された事業所にお尋ねします。不足な設備について、今後の対応予定はありますか。

不足・やや不足と回答企業の今後の対応は、増設・購入検討が37.1%、現状対応34.3%となっています。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
当分の間、現状設備で対応する	36.4%	0.0%	50.0%	42.9%	0.0%	50.0%
増設・新規購入を検討している	45.5%	50.0%	16.7%	28.6%	100.0%	25.0%
賃貸・リースで対応している 又は 今後予定している	18.2%	0.0%	33.3%	14.3%	0.0%	25.0%
特に考えていない	0.0%	16.7%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

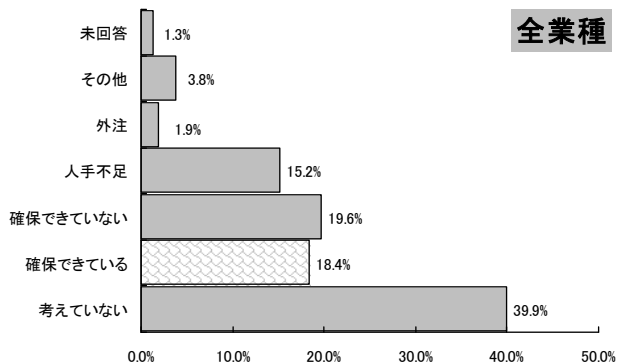
全業種



雇用・採用状況

問4

現在の雇用・採用状況についてどのようにお考えですか。



「当面考えていない」が最も多いが、「雇用できていない」や「確保できている」も多くなっています。業種別では、建設業・製造業で雇用できていない企業が多く、卸・小売業を含めて「人手不足」の回答が多くなっています。

	製造業	卸・小売業	サービス業	建設業	不動産業	その他
新規雇用は当面考えていない	36.8%	50.0%	12.0%	36.1%	71.4%	29.4%
予定通り雇用確保できている	21.1%	17.9%	4.0%	22.2%	0.0%	23.5%
予定した雇用が確保できていない	21.1%	3.6%	8.0%	22.2%	14.3%	35.3%
雇用確保できず、人手不足となっている	10.5%	21.4%	0.0%	13.9%	0.0%	11.8%
人手が全く不足しており、外注等でやりくりしている	2.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
その他	7.9%	3.6%	76.0%	0.0%	7.1%	0.0%
未回答	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%

消費税増税後の影響について

問5

消費税引き上げ後（平成26年4月以降）、どのような影響があったか、お聞かせください。

（全158社のうち、97社から回答をいただきました）

- ・影響なし(33社)
- ・利用客の減少(3社)
- ・仕入れ価格・原材料費の上昇(9社)
- ・収益悪化(4社)
- ・売上高減少(14社)
- ・影響は小さい(3社)
- ・駆け込み需要の反動がきつい。買い控えが心配(10社)
- ・多少影響あり。今後価格に上乗せできればと思っている(3社)
- ・長期計画が見込めない状況
- ・重圧を感じている。労働意欲が減る
- ・雇用が困難
- ・事務手続きが煩雑になった・修繕費用の増加
- ・増税後は一般個人客の売上が減少。現在、今後の増税もありうることから、やや売上上昇傾向(2社)
- ・消費税納税時期の資金が心配
- ・宅地に関する問い合わせが少なくなった(3社)
- ・一時的かもしれないが、消費税増税による負担は大きい
- ・引き上げ3%分の値下げ要求がある(2社)
- ・収入の二極化がはっきりしている
- ・来年の消費税増税阻止したい
- ・家賃支払等の滞納は現在までないが、今後心配である
- ・手数料の実質値上げ

皆様のご協力、ありがとうございました



 **にいかわ信用金庫**

編集 融資部

魚津市双葉町6番5号 TEL0765-24-1214
<http://www.shinkin.co.jp/niikawa/>